

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は適切に管理、処理しているが、環境汚染を予防するように良質なエンジンオイルを使用し環境汚染予防に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		太陽光発電エネルギーにより電力量の増加に取り組んでいる。又、ガソリン軽油削減の為、ダンプ1台、重機3台を排ガス対応車に交換済みであり、CO ² 排出量算定システム炭削くんを活用し、エネルギー使用量把握を実施している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		ダンプ1台、重機3台を排ガス対応車に交換済みであり、ガソリン軽油の消費量を把握し、排出の抑制の為、CO ² 排出量算定システム炭削くんを活用し、排ガス排出量把握を実施している。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		山林、河川の生物生態系に影響を及ぼさないよう、水脈を避けて山砂採取を行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		現在、山砂、石を3種類に選別リサイクルする重機を使用し再生利用に取り組んでおり、山林伐採した雑木は再生チップ工場に売却し効率的な資源利用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		くまもと雨庭パートナーズとして認定を受け、河川に土砂流出防止の為、沈殿池を設置し、雨水を社屋の屋根から集水タンクに貯めてトラック、ダンプ、重機タイヤの洗浄等、足洗い場として活用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		トラック、ダンプにアドブルーを使用する事で、CO ² 削減に取り組んでいる。又、一部コピー用紙に再生紙を利用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		現在の太陽光発電エネルギーに加え、分別リサイクル重機及び土質改良機の導入で、動力のエネルギー効率改善に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		【予定】2026年10月までに阿蘇市に山林を購入予定であり、森林資源の循環利用に向けた取組みを実施する。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO ² 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ² 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ² 削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2		

